

山際塾長のこだわり教育論 13

「国語力」が大切です

国語力、つまり文章を読み、論理的に考え表現する能力は、すべての学力の基礎であり、大変重要な学科です。

文章を読む能力が不十分では、語学ばかりか社会科や理科・科学も理解するのが難しくなり、数学の問題を解くことも大変です。また、本や新聞を読むのもおっくうになり、ものを考える力や、人生や社会や世界への興味も薄っぺらなものになってしまうでしょう。

国際社会での経済競争も、外交も、国際文化交流も、英語の前にまずは日本語です。まず自分の国の言葉でしっかり考え、他者の言葉を受けとめ、自分の考えを表現する。これが出発点でありベースでなければなりません。

価値観が多様化し、国際化が進めば進むほど、私たち日本人にとって日本語の力はますます重要になっていくでしょう。

英語という学科を考える時も、私たち日本人にとっては、日本語の力がないと英語の力もつきません。英語という学科は、実は「日本語と英語の関係」を理解する学科です。英語のできる人は国語のできる人です。

このように、**国語の能力はすべての学力の基礎**であり、大変重要な学科です。それなのに文部科学省の学習指導要領の国語の授業時間が減り、それにつれて本を読まない子どもが増え続けているのです。

子どもたちを、自分の国の言葉をきちんと使いこなせる人間に育て上げることは大人の責任です。

国語力をつけるには、塾や家庭での国語の学習時間を十分に確保することが大切です。しかしそれ以上に大切なことは、やはり何よりも**常日頃から、多くの活字に慣れ親しみ、本や新聞をより多く読んでいること**です。

「読書」は国語力の向上だけでなく、**情緒力や人間力の育成**にも大切です。ぜひご家庭では、読書の習慣を定着させていただきたいと願います。

やまぎわ塾の国語指導

私たち未来教育やまぎわ塾では、創立以来ずっと、子どもたちに国語の楽しさや日本語のすばらしさを実感させ、国語力の育成教科指導をさらにいっそう精力的に進めていかなければならない、と考えてきました。

国語力の向上養成を特に重視し、英語・数学とともに国語をカリキュラムの中心に位置づけてきました。

国語力指導は、未来教育やまぎわ塾の得意分野のひとつでもあります。

小学・中学では教科書完全準拠の学習テキストと共に、いち早く読解力・表現力養成のためのシステム教材「成長する思考力」シリーズなどの本格テキストを採用導入し、また中学生・高校生には作文指導・小論文指導を必要に応じて強化するなど、国語力の増強のための指導システムの強化を進めています。